開催日及び場所

## 入札等監視委員会 審議概要

令和7年6月13日(金) 横浜植物防疫所会議室

(ホームページ掲載日:令和7年7月17日)

				节和 ( 十 0 万 1 3 日 ( 並 )			
				嶋矢 剛(公認会計士)			
				増井 史彰 (弁護士)			
審議対象期間				令和6年10	令和6年10月1日~令和7年3月31日		
eter an	5 - 1 - 1 - 4 - 4 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1			38件	うち、1者応札案件13件		
審議対象案件					契約の相手方が公益法人等の案件	0件	
				9件 うち、1者応札案件 7件			
	r eta til			(抽出率 2 4 %) (抽出率 5 4%)			
抽出案件				契約の相手方が公益法人等の案件 0件			
					(抽出率0%)		
		一般競争		1 件	うち、1者応札案件 1件		
	工事	指 公募型指名競争		_			
		名競	工事希望型競争	_			
		争	その他の指名競争	_			
		随意	· 文契約	_			
		一般競争		_			
		指	公募型競争	-			
		名	簡易公募型競争	-			
抽	alle me	競争		_			
出案	業務		公募型プロポーザル	_			
件		随意	簡易公募型プロポーザル	_			
内訳		契	標準型プロポーザル	_			
		約	その他の随意契約	_			
				7 件	うち、1者応札案件 6件		
		一般競争		契約の相手方が公益法人等の案件 0件			
	物品・役務等	指名競争		_	3.1.1		
		随意契約(企画競争・公募)		_			
		随意契約 (その他)		1 件 うち、契約の相手方が公益法人等の案件 0件			
	(特記事項)			特になし			
委員	」 からの意見・質	問、	それに対する回答等		意見・質問	回答等	
				神戸植物防疫所	「坂出支所小松島出張所空調設備設置		
				工事			
				札率も相応に下	工事であれば、応札者が複数で、落 がることが少なくないと推定される はなかった事情をうかがいたい。	・電子入札としたことにより、入札説明書を受領する業者は13者と多かったが、うち4者は入札紹介サイト運営者等であった。残る9者のうち7者は外外の業者であったことから、主に立地的な条件から入札へ参加しなくなったものと考える。参加しなかった県内の1者に理由を聞き取ったところ、日程が合わず見送ったとの回答を得ている。	
				方を変えたから	注子入札を行ったとのことだが、やり といって、急に入札に参加する業者 ないと思う。次回以降に期待した		
				いか。	特殊な工事ではないという理解でよ 記的に行う案件でなくても、一般業者	・事務室の天井取付タイプの一般的なエアコン設置 工事である。	
					*案件については、引き続き広く競争		
					のメーカーを指定しているが、指定ないただきたい。	・代表的な製品として特定のメーカーを仕様書に 載したが、仕様書には「同等品又は同等以上の性 を有するものとする」と記載している。性能が伴 ていればメーカーに特段の拘りはない。	

	意見・質問	回答等
gan 30.600 gian civilog, del i	小型圧力容器(オートクレーブ)等点検業務 ・当該2者は、1者応札又は落札率が100%の案件が 少なくないため、それに該当する契約は事後チェッ クの主旨で経緯を伺いたい。	・入札等説明書の受領は2者だったが、結果的に1 者応札となった。 入札後、不参加だった1者に理由を確認したとこ ろ、入札の公示である時期が繁忙期で多忙な状況の ため、入札に参加できなかったと回答があった。 ・令和7年度の点検では、時期を考えながら公告す ることで、対応していきたいと考えている。
	・1者が繁忙期のため参加できず、1者応札になったことについては、もちろん2者の方がよいが、植物防疫所にもスケジュールがあり、他の業者にも繁忙期があると思うので、是々非々でよいと思う。	
	・来年以降はまた2者になるという認識でよいか。	・時期を検討して、少なくとも2者入れるようにしたい。
	・時期を無理にずらして2者にするのは難しいと思	・入札説明書も取りに来ていただけない状況。
	う。 今後、定番の2者以外に他の業者が入札に参加する可能性はあるか。資格の設定等、難しいことを要求しているわけではないが、他の業者に供給能力はなさそうか。	過去、令和3年に3者が入札等説明書を取りに来たが、結果的に入札は2者。その際に初めて来た業者からは、仕様書を見て参加できないと回答をもらったところ。
	・応札業者が1者でも増えれば、良いと思う。	
	分析機器定期点検業務 ・先ほどの2者とは異なるが、それに準じて経緯を 伺いたい。 ・なお、今回、愛知と福岡と沖縄の3所在地の案件 が比較的多いように見えるが、理由・事情があれ ば、ご説明いただきたい(例えば、経年で更新時期 が集中している、等)	・前年度から入札公告の内容は変えていないが、毎年、使用頻度の高い分析機器を取りまとめて点検しているため、点検する機種が毎年変わる。前年度以前は、点検に対応できる会社が2者、3者いたが、今回は毎年入札に参加しているもう1者の業者に対応できない機種があったため、当該業者が入札を辞退し1者応札となった。
	・落札業者の概要を簡単に説明してほしい。	・実験器具を取り扱っており、当所で購入等の実績 もある。 また、取り扱っている実験器具の点検修理も行って いる会社である。
	・辞退した業者が対応できない分析機器があるとの ことだが、落札業者はどの機械にも対応できる業者 なのか。	・基本的にどの機械にも対応できる業者。 今回辞退した業者も、基本的には幅広く対応でき る業者だが、今回は対応できない機器が数点あり、 辞退したところ。
	・多くの実験機器・分析機器を点検できるのは、2 者しかいないという認識でよいか。	・もう1者対応可能と想定できる業者があるが、電話で確認したところ対応できない機器があると断られた。
	・点検業務を二つに分けて実施する方法もあるが流 石に手間がかかるので、今回の処理で問題ないと考 える。	
	・元々複数応札者のいる案件が、今回は1者応札となった経緯について承知した。1者応札となり、落札率が100%になると、競争原理が働いていないと見受けられてしまう。 次回以降、今回のように他業者に対応できなかった機種がなければ、3者から見積りを取る必要があ	
	る。 また、今回は予定価格を決定する際に、落札業者 の参考見積額を参照しているが、次回は他の業者を 使う工夫をしてほしい。	
	・見積と入札価格について、負担がない範囲で工夫 できることを検討してほしい。	
	た。	
	・ミカンコミバエ防除用単剤誘殺板について、同じ 効果を持つ代替品はないのか。	・フェロモントラップに使用する当該薬剤は落札業者しか製造しておらず、当該薬剤を使用した防除の 方法が確立されているため代用は難しい。

・海外からの輸入は難しいか。

・承知していない。

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答等
	・1者応札で100%になった要因は、値段の問題ではなく供給能力の問題という認識でよいか。	・然り。
	・過去3年1者応札が続いているが、初めの頃に他の業者に参加してもらうため、何らかの対応をしたか。	・承知していない。
	・落札業者にしか作れない薬剤であれば、入札の方法を工夫しても難しいと思い、状況を確認したかった次第。次回のタイミングで報告してもらえればと思う。	
	・実績額について、令和3年が約400万円、令和5年が約1,200万円、今回が約1,700万円と増額しているが、その理由について教えてほしい。	・ミカンコミバエの発生状況に起因して、実績額に差が生じている。 誘殺板はミカンコミバエが発生した際に使用し、発生しなければ備蓄しているが、令和6年度は年度当初にミカンコミバエが発生し、備蓄の7割、8割を使用してしまったため、次回発生した際にすぐ対応できるよう、備蓄用として大量に購入したため増額した。
	・一定数必ず消費されて、発注されるのであれば、場合によっては他の業者が参加する可能性もあるが、ミカンコミバエが発生しない場合には発注しない以上、金額的には業者にとって魅力的な案件だが、他の業者が経営資源を引き当てて本案件の発注に備えるのは難しいと思った。	
	グアニジンチオシアン酸塩外37点売買契約 ・過去、3年連続で同一の会社が落札しているが、 今回は別の1者のみ入札に参加し、1者応札かつ落 札率100%になったという認識でよいか。	・然り。 入札説明書の受領業者は今回の落札業者と過去の 落札業者の2者。
	・入札説明書の受領業者のうち、過去の落札業者が 入札に参加しなかった理由を教えてほしい。	・他の案件があり、対応が困難なため、入札に参加しなかった。
	・営利企業なので、他の案件を優先するのは仕方が ないことだと思う。	
	・過去にが購入している抗血清と、今回の契約で業者が落札したグアニジンチオシアン酸塩は異なる薬品か。	・抗血清とグアニジンチオシアン酸塩は異なる薬品である。 抗血清は毎年購入しており、令和6年度は毎年購入している抗血清に加え、グアニジンチオシアン酸塩の購入を一つの案件としてまとめた。 本案件は、毎年金額に応じて入札や見積合わせをしているが、令和6年度は入札を要する金額となったため、入札にした。
	・今回の落札業者は去年から本案件に参加している 業者か。	・試薬の入札の実例はないが、過去見積合わせには参加している企業。
	・先ほどの2者が本試薬の発注に対応する能力がある業者という認識でよいか。	・然り。
	・次回以降は、過去の落札業者にも入札に参加して もらえるようにしてほしい。 今回は落札業者の見積をもとに予定価格を積算し ているが、過去の落札業者に見積を取らなかった理 由を教えてほしい。	・入札に参加する予定がなかったため、参考見積も 提出していただけなかった。
	・そもそも過去の落札業者には本案件に対する意欲がなく、入札に参加した見積の金額のとおりに落札されたということか。	・基本的に、入札説明書を取りに来た業者には参考 見積を依頼している。 過去の落札業者は入札説明書を取りに来た時点で 多忙のため、参考見積を提出していただけず、入札 にも参加していない状況。
	・競争の前段階で、予定価格の金額は重要なので、 できればもう1者にも参考見積を提出していただき たいところ。	・最近は、参考見積を提出しない業者が増えている状況。
	・業者に協力してもらうことの重要性・困難さを認識できた。	・今回の落札業者は前回の入札から参加しており、 過去の落札業者にも入札に参加してもらえれば2者 となったが、今回は不参加のため1者応札となっ た。
	・1回で見込どおりに入札を行うのは困難ではあるため、業者とのコミュニケーション等については、 今回報告のあった対応を含めて、引き続きご対応いただきたい。	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答等
	オートクレーブほか定期点検等業務 ・100万円台だった過去の実績と比較して、令和6年 度は約380万円まで増額しているが、その理由をご教 示いただきたい。	
	・定期点検の周期により、点検の必要数が毎年増減 するという認識でよいか。	・然り。
	いように見受けられる。	・2者ともに代理店であり、代理店がメーカーに点検を依頼することになる。当所が機器を購入した業者が本案件の入札に参加してくるため、新たな業者が参加しない。
	・毎年同じ業者で落札率が高いため、外形的には競争がないように見えてしまうが、他の業者に供給能力がないのであれば、競争しようがないので仕方がない。 もし、他の業者が見つかれば、取り込む努力をしてほしい。	
	・本案件を継続的に監視していきたい。	
	遺伝子増幅装置ほか定期点検等業務 ・過去実績は2者だが、今回は1者。 これまで委員として2者から3者に増えればよいと伝えていたが、1者になってしまった。 案件自体としては、6-⑥の誘殺板購入の案件とは異なり、競争入札に沿うはずの案件だが、1者しか入札に参加しないのは残念。 入札の内容に問題はないが、今回の説明を受けて、多忙により入札への参加を断られるという課題を認識した。	
	<ul><li>・本案件を供給できるのは定番の2者しかいないという認識でよいか。</li></ul>	・基本的には、メーカーの代理店であり、機器を取り扱う業者が点検を実施するため、現時点で当所に 多くの機器を入れている2者以外が入札に参加する のは難しいが工夫していく。
	・毎年同じ業者が入札に参加し、落札率が高い状況が続くより、新たな業者が入札に参加し、落札率が落ちる方が競争の観点から望ましい。 困難なことは承知しているが、競争原理が働くよう目指してほしい。	
	・民間企業のエレベーターの点検では、近年メーカーの代理店以外の業者も点検するようになり、当初見積額の半額になる等、競争原理が働いている状況。	
	エレベーターと遺伝子増幅装置のような精密機器では状況が異なると思うが、中長期的には、本案件にも何らかの競争が働くことに期待したい。 引き続き、他の業者が参入できるような仕組みづくりを継続してほしい。	
	リアルタイムPCR装置の購入 ・リアルタイムPCR装置について、簡単に説明してほ しい。	・新型コロナウイルスのPCR検査と同様に、PCRの検査手法により植物の反応を確認し、病気の種別を判断するために用いる機械。 植物のウイルスを検出し、どのような病気に該当するか判別するための装置。視認できない症状を機械により判別している。
	・今回3台購入しているが、3台購入した理由についてご教示いただきたい。既にある機器の更新なのか、それとも拠点の増加に伴う新規購入なのか。	・更新である。
	・3台で足りるのか。	・つくば、伊川谷、門司のリアルタイムPCR装置のうち、利用頻度の高いものを更新した。
	・予算等の兼ね合いで今回は3台更新したということか。承知した。	· 然り。
	・これまでの案件と同様、リアルタイムPCR装置も、 定番の2者でなければ供給できないのか。	・他者の参入は可能であるが、過去の取引実績から 他者の参入がなかったと思慮する。
	・委員の立場としては、参加業者数を増やしてほしいと思っているが、各社繁忙期や固定客からの発注がある中で、本案件のようにスポットで(突発的に)発生する発注に対応してもらえるように調整することが困難なことは承知している。プロセスを把握するために、確認を行った。	

委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問	回答等
		・侵入警戒の調査用資材であるメドフライコールを現在製造しているメーカーは1者のため、契約できる業者も同社のみだが、新規メーカーが参入できる道を確保する必要性があることから公募している。新規メーカーが参入する場合は、一般競争入札を実施する旨、公告に記載している。公募の結果、他の業者が参加しなかったため、同者と契約している。
		・誘殺にかかる誘引剤の使用目的について補足する。植物防疫所では、海外から輸入される植物を対象に検査を行っており、様々な植物が輸入されている状況。こうした状況の中、日本に発生していない病害虫を早期に発見する、発見したものを早期に防除・根絶するために、重要な港・空港にトラップを設置し、虫を寄せ付けて確認をする調査をしている。本案件は当該調査に使用する誘引剤を購入するための契約。日本国内で病害虫が蔓延してしまうと、膨大な防除費用がかかるため、早い段階で発見して早い段階で駆除することが重要。
	・他のもので代替できないのか。	・当該誘引剤で効果があるため、代替困難。
	コールは落札業者でしか作成できない、ミカンコミ	・メドフライコールの方がより他の業者が参入する 可能性が低いため、本案件を随意契約、ミカンコミ バエ防除用資材の案件を一般競争として整理してい る。
	・随意契約にした理由については、今後も確認する 可能性があるので、都度説明してほしい。	
委員会による意見の具申又は勧告の内容	特になし	
[これらに対し所長が講じた措置]		

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。